

各務原市と川島町の新しいまちづくりに
向けたアンケート調査



集計報告

平成 15 年 9 月 30 日

木曾川文化圏市町合併協議会

各務原市・川島町

各務原市と川島町の新しいまちづくりに 向けたアンケート調査 集計報告

- 目次 -

1. 調査の概要	1
1 - 1 調査目的	1
1 - 2 調査設計	1
(1) 調査項目	1
(2) 調査対象	1
(3) 実施方法	1
(4) 集計及び分析	1
1 - 3 回収状況	2
2. 集計結果	3
2 - 1 回答者の基本属性	3
2 - 2 日常生活の行動範囲(問5)	5
2 - 3 地域の現状と必要な施策	6
(1) 地域の現状(生活環境・行政サービスの満足度)(問6)	6
(2) 必要な施策(重要施策)(問7-MA)	6
2 - 4 地域の誇り(問8-MA)	9
2 - 5 合併への期待(問9-MA)	10
2 - 6 合併への不安(問10-MA)	11
2 - 7 合併後の将来像(問11-MA)	12
2 - 8 新市の名称(問12)	15
3. アンケート調査票	17

1. 調査の概要

1 - 1 調査目的

このアンケートは、両市町が合併した場合、どのようなまちづくりを目指すのかを住民の皆様にお伺いし、「新市建設計画」を作成する際の基礎資料とすることを目的に実施したものである。

1 - 2 調査設計

(1) 調査項目

- ・ 基本属性（性別・年齢・居住区・職種）
- ・ 行動範囲
- ・ 地域の現状と必要な施策
- ・ 地域の誇り
- ・ 合併への期待と不安
- ・ 合併後の将来像
- ・ 新市の名称の扱い

(2) 調査対象

- ・ 調査対象：各務原市・川島町に在住する18歳以上の男女
- ・ 抽出方法：各務原市、川島町の全世帯の1割を目処に抽出
- ・ サンプル数：5,100人（P 2 参照）

(3) 実施方法

- ・ 配布回収：郵送配布・郵送回収調査法
- ・ 調査期間：平成15年7月31日～8月15日 9月8日到着分まで集計対象とした。

(4) 集計及び分析

- ・ 回答率(%)は「無回答」を除く有効回答者数（nと表記）を基数にして算出した。
- ・ 集計結果はすべて小数点第2位を四捨五入しており、表示の比率の合計が100%にならない場合がある。
- ・ 複数回答（MAと表記）の設問では、比率の合計が100%を超える場合がある。

1 - 3 回収状況

郵送配布したアンケート調査票（5,100票）のうち、有効回収数は2,152であり、市町全体の回収率は42.2%となった。

	人口総数	世帯数	発送数
各務原市	131,991	47,171	4,400
川島町	9,774	2,980	700
合計	141,765	50,151	5,100

回収数	回収率
2,152	42.2%

H12 国勢調査人口、世帯数は平成 15 年 6 月末現在

【参考】

なお、問3 居住地（小学校区別）回答による分類に基づき、想定される市町別の回収率は、各務原市41.6%、川島町35.1%であった。

居住地	発送数	居住区回収数	回収率
各務原市	4,400	1,830	41.6%
川島町	700	246	35.1%
無回答		76	

サンプル数について

	世帯数 (世帯) [A]		必要 回答数	必要 サンプル数 (固定分) [B]	中間 抽出率 (%) [B/A]		世帯数 比例分	サンプル 数 [C]		最終 抽出率 (%) [C/A]
	構成比 (%)	5% 以上			構成比 (%)					
各務原市	47,171	94.1	382	764	1.6	3,636	4,400	86.3	9.3	
川島町	2,980	5.9	341	682	22.9	18	700	13.7	23.5	
合計	50,151	100.0	723	1,446	2.9	3,654	5,100	100.0	10.2	

(注)世帯数[A]:平成15年6月末現在による。

必要回答数:統計学の観点からみた必要数回答数。(信頼係数を95%)

必要サンプル数:必要回答数の2倍。(有効回収率50%と想定)

世帯数比例分:発送数5,100から両市町の必要サンプル数(1,446)を差し引いた残りを配分。

サンプル数:必要サンプル数(固定分)と世帯数比例分の合計。

$$n = N \div [\{ (e \div 1.96)^2 \times (N - 1) \div 0.25 \} + 1]$$

N = 母数 (対象世帯数)
e = 誤差 (=0.05)
n = 回収ベースのサンプル数

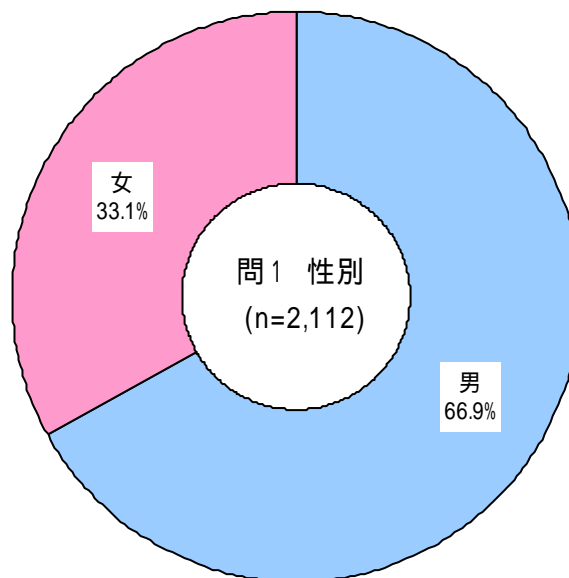
社会調査 有斐閣Sシリーズ
宝月 誠 (著), 田中 滋 (著), 中道 実 (著), 中野 正大 (著)
単行本: 282 p ; サイズ(cm): 182 x 128
出版社: 有斐閣 ; ISBN: 4641059330 ; (1990/01)

2. 集計結果

2 - 1 回答者の基本属性

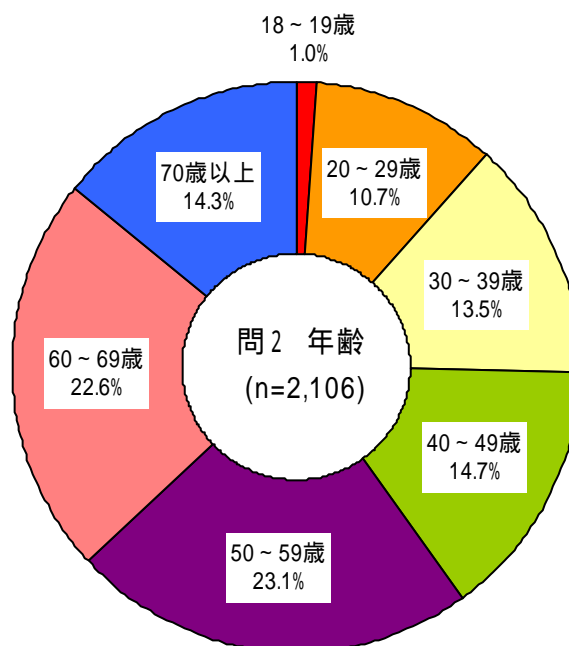
問1. 性別

回答者の性別は「男」66.9%、「女」33.1%という結果となった。



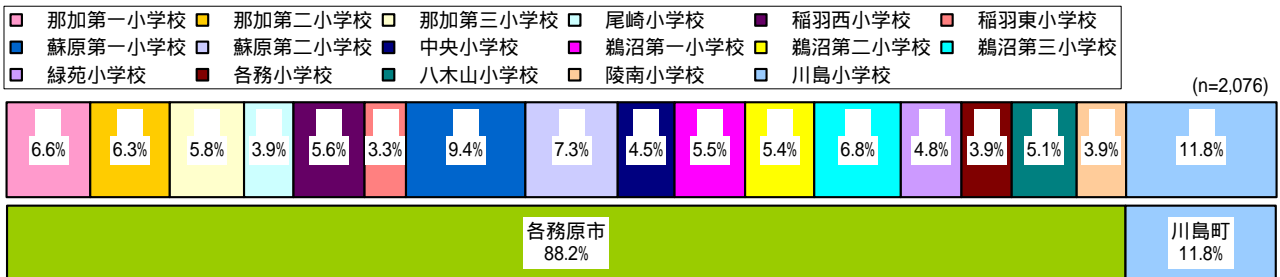
問2. 年齢

回答者の年齢は「50～59歳」が23.1%で最も多く、次いで「60～69歳」が22.6%となっている。



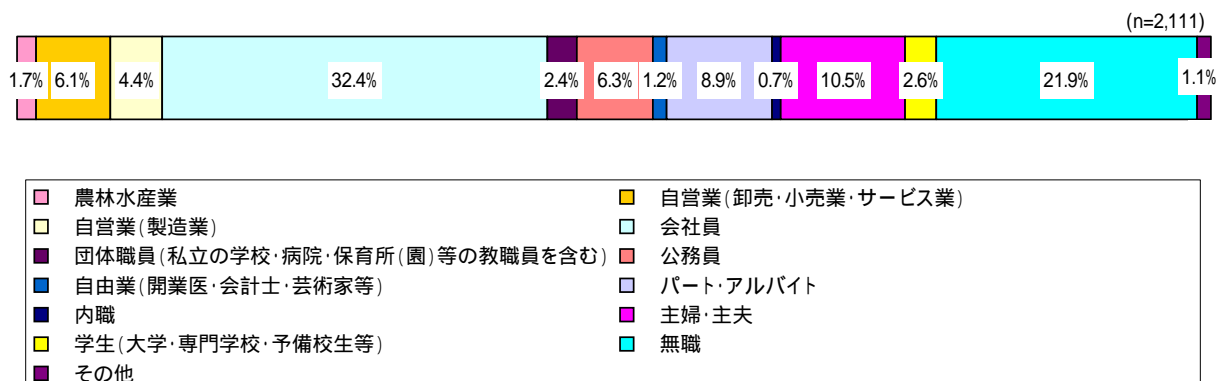
問3. 居住地（小学校区別）

回答者の居住地は、各務原市が88.2%、川島町が11.8%であった。



問4. 職業

「会社員」が最も多く、次いで「無職」、「主婦・主夫」となっており、この3つで全体の60%以上を占めている。



2 - 2 日常生活の行動範囲（問5）

住民の生活行動については、両市町とも「通勤や通学」、「身近な行楽地」、「文化活動やスポーツ活動への参加」、「福祉施設の利用」は自市町が第1位であり、次いで岐阜市、一宮市、江南市などの隣接する市町となっている。

また、「食料品や日常雑貨品の買い物」、「衣料や家具、家電製品等の高額品の買い物」、「よく利用する飲食店」、「病院・診療所の利用」については、各務原市では自市が第1位となっているが、川島町では、一宮市が第1位となっている。

なお、「コンサート等の芸術鑑賞やスポーツ観戦」については、両市町とも名古屋市の利用が第1位となっている。

自市町
 相手市町

	居住地	第1位		第2位		第3位	
		市町	割合	市町	割合	市町	割合
通勤や通学	各務原市 n= 1304	各務原市	50.8%	岐阜市	15.0%	名古屋市	8.9%
	川島町 n= 176	川島町	27.8%	一宮市	13.6%	岐阜市	11.9%
食料品や日用雑貨品の買い物	各務原市 n= 1741	各務原市	94.8%	岐阜市	1.7%	笠松町	0.7%
	川島町 n= 225	一宮市	39.1%	江南市	16.0%	笠松町	11.6%
衣料や家具、家電製品等の買い物	各務原市 n= 1716	各務原市	86.7%	岐阜市	7.1%	名古屋市	3.2%
	川島町 n= 227	一宮市	39.2%	各務原市	22.0%	江南市	12.8%
よく利用する飲食店	各務原市 n= 1698	各務原市	85.9%	岐阜市	7.4%	名古屋市	2.1%
	川島町 n= 219	一宮市	29.2%	江南市	22.8%	各務原市	14.2%
身近な行楽地	各務原市 n= 1592	各務原市	30.3%	その他岐阜県	27.4%	名古屋市	7.4%
	川島町 n= 206	川島町	33.5%	その他岐阜県	13.6%	一宮市	8.3%
文化活動やスポーツ活動への参加	各務原市 n= 1541	各務原市	76.1%	岐阜市	9.3%	名古屋市	4.8%
	川島町 n= 177	川島町	60.5%	岐阜市	9.0%	一宮市	6.8%
コンサート等の芸術鑑賞やスポーツ観戦	各務原市 n= 1505	名古屋市	38.6%	各務原市	28.6%	岐阜市	21.9%
	川島町 n= 181	名古屋市	51.9%	岐阜市	18.2%	その他愛知県	7.2%
病院・診療所の利用	各務原市 n= 1751	各務原市	84.1%	岐阜市	10.2%	名古屋市	1.4%
	川島町 n= 223	一宮市	36.3%	笠松町	17.5%	江南市	11.7%
福祉施設(児童・老人福祉施設等)の利用	各務原市 n= 1332	各務原市	95.4%	岐阜市	1.7%	その他岐阜県	0.9%
	川島町 n= 149	川島町	79.2%	一宮市	7.4%	笠松町	4.7%

2 - 3 地域の現状と必要な施策

(1) 地域の現状（生活環境・行政サービスの満足度）(問6)

各務原市では、「情報通信基盤の充実」を除く【生活基盤】については概ね良好な評価が得られており、特に「ごみ収集、処理施設等の充実」については、全項目の中で評価が最も高くなっている。また、【教育・文化】についても良好な評価を得ている。

一方、【産業】、【住民参加】については、すべての項目で評価が低くなっている。また、【健康・福祉】については、「保健サービスの充実」を除いて評価が低くなっている。

川島町でも、「ごみ収集、処理施設等の充実」の評価が最も高く、【教育・文化】については、すべての項目で良好な評価を得ている。

一方、【生活基盤】の「幹線道路網・橋の整備」、「公共交通の充実」、【健康・福祉】の「病院、診療所等の医療施設の充実」の評価が特に低くなっている。【産業】については「商業の振興や買物の利便性、サービスの向上」をはじめ、すべての項目で評価が低くなっている。また、【住民参加】については、ほとんどの項目で評価が低くなっている。

* 各選択肢の回答数に以下のように設定した得点を乗じたものによる加重平均を満足度とした。

「大変満足」	2点
「やや満足」	1点
「どちらともいえない」	0点
「やや不満」	-1点
「大変不満」	-2点

(集計結果は、次頁参照)

(2) 必要な施策（重要施策）(問7 - MA)

重要な施策について、各務原市では【健康・福祉】の「医療施設の充実」、「高齢者福祉施設の整備」が多く、次いで【生活基盤】の「幹線道路網・橋の整備」、「身近な憩いの場の充実」、【住民参加】の「開かれた行政の推進」が上位に挙げられている。

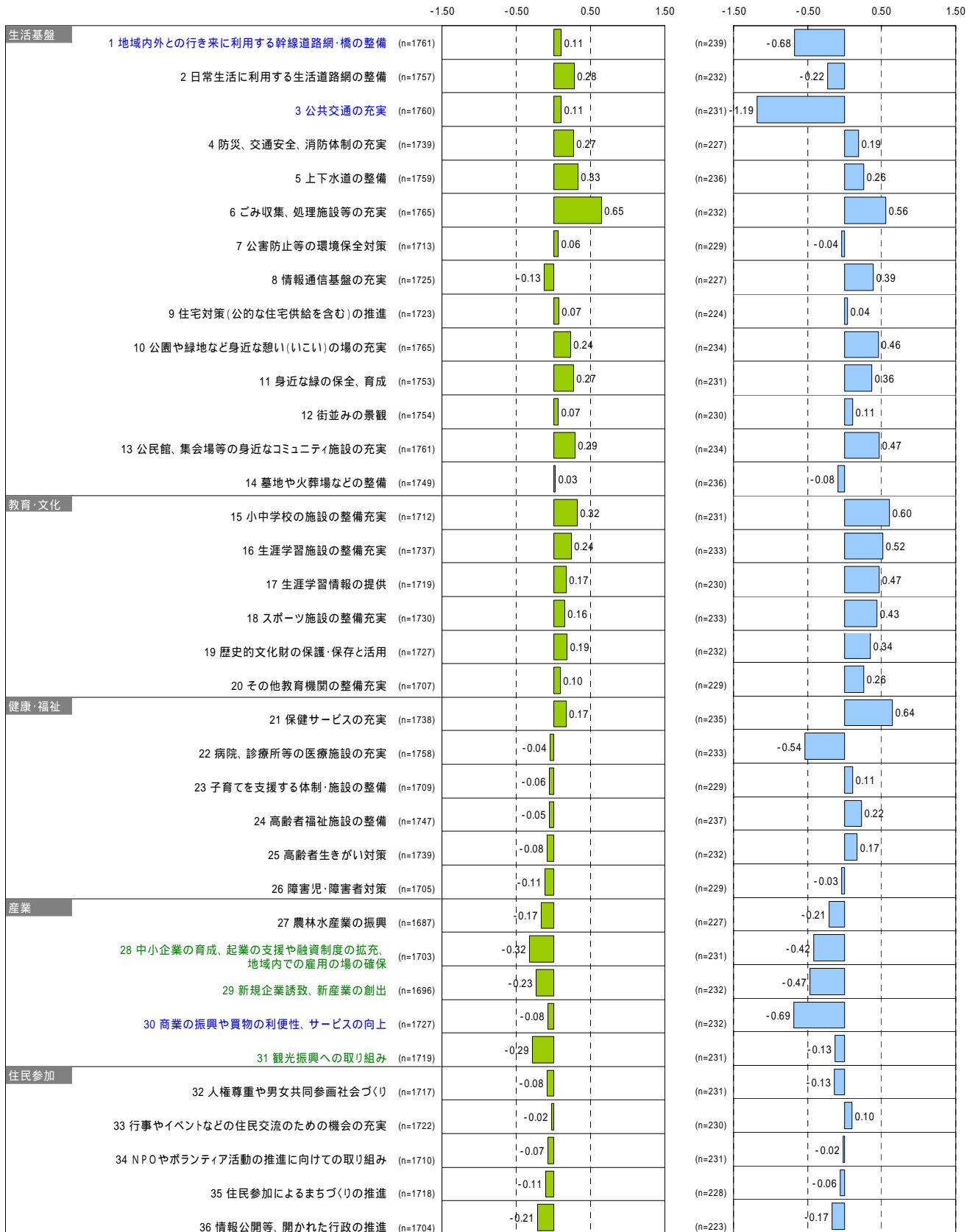
川島町では【生活基盤】の「幹線道路網・橋の整備」、「公共交通の充実」が非常に多く、次いで【健康・福祉】の「医療施設の充実」が上位に挙げられている。

(集計結果は、次々頁参照)

(1) 地域の現状（生活環境・行政サービスの満足度）(問6)

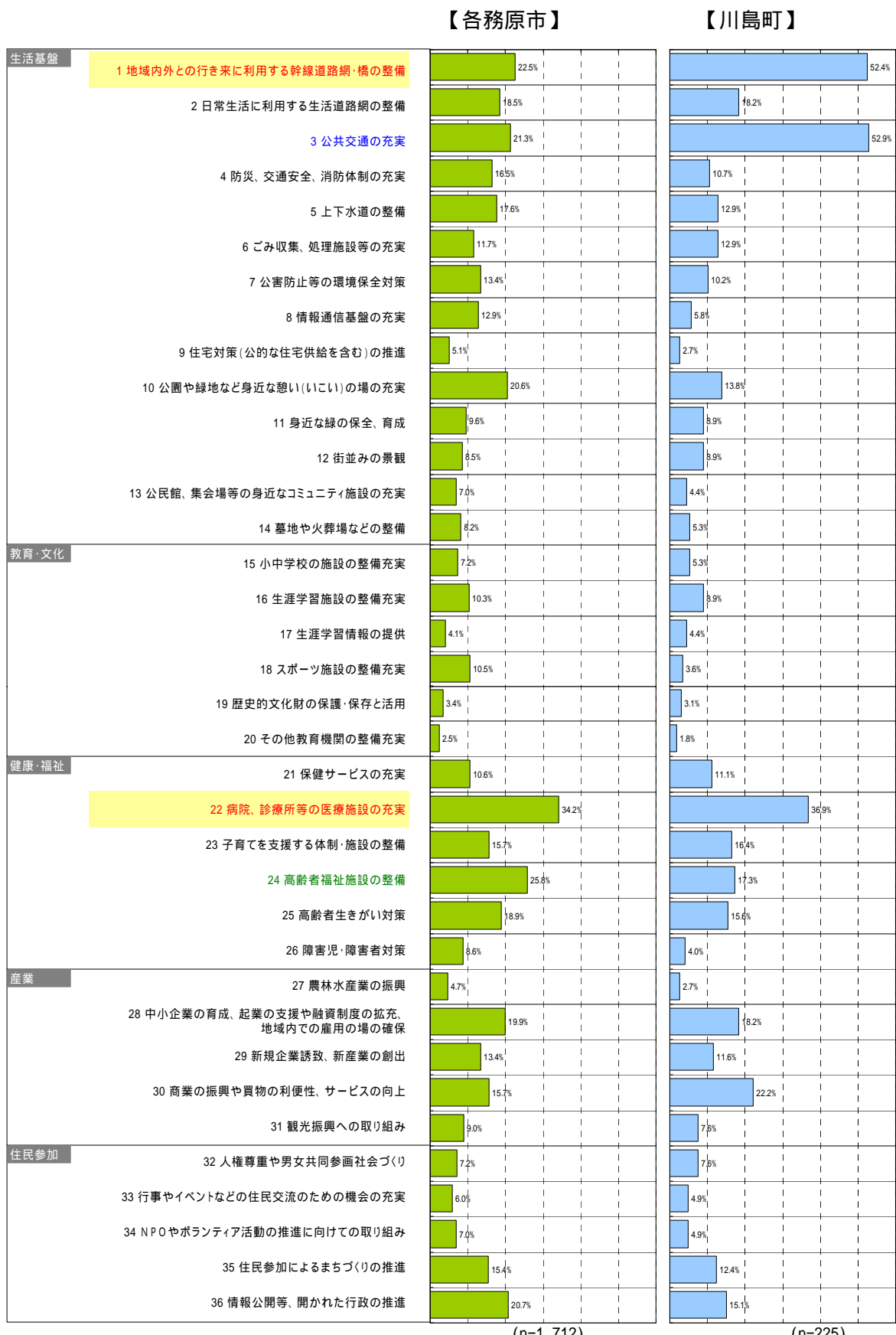
【各務原市】

【川島町】



各務原市で最も評価の低いもの3項目を緑、川島町で最も評価の低いもの3項目を青で表示。

(2) 必要な施策（重要施策）(問7 - MA)

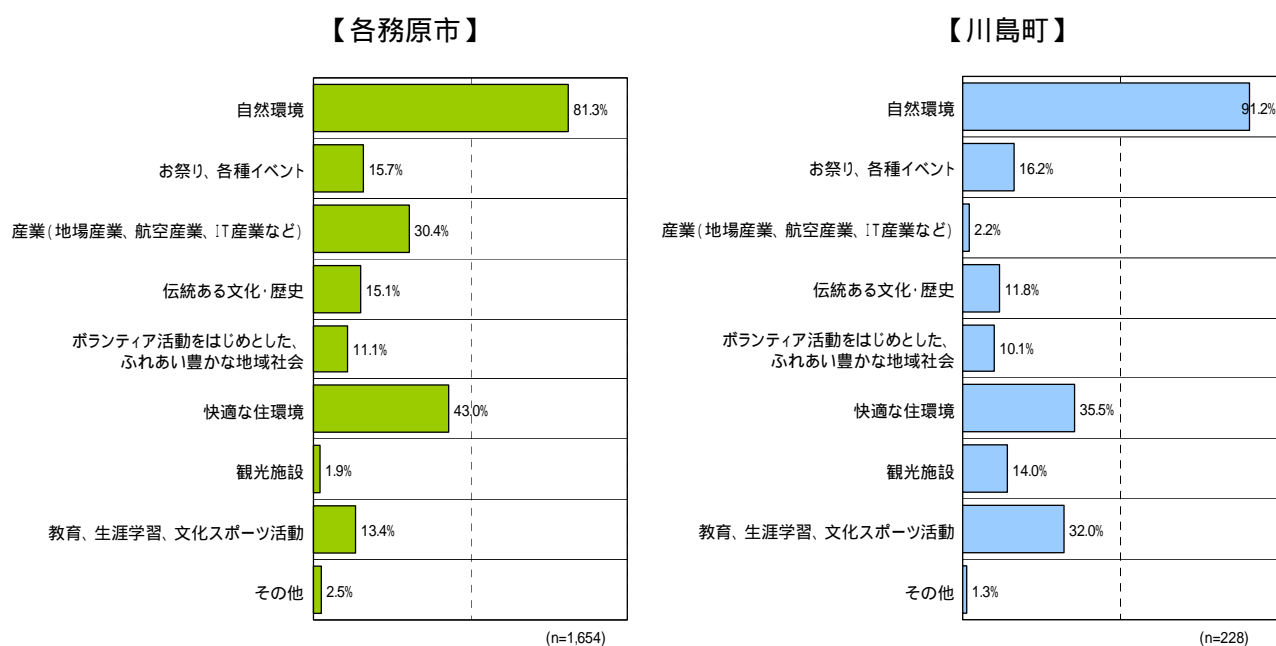


各務原市で最も重要度の高いもの3項目を緑、川島町で最も重要度の高いもの3項目を青で表示。ただし、両市町で共通する項目は赤で表示。

2 - 4 地域の誇り（問8 - MA）

地域の誇りについて、各務原市では、「自然環境」が81.3%と非常に多く、次いで、「快適な住環境」が43.0%と多くなっている。第3位は、「産業（地場産業、航空産業、IT産業など）」（30.4%）となっている。

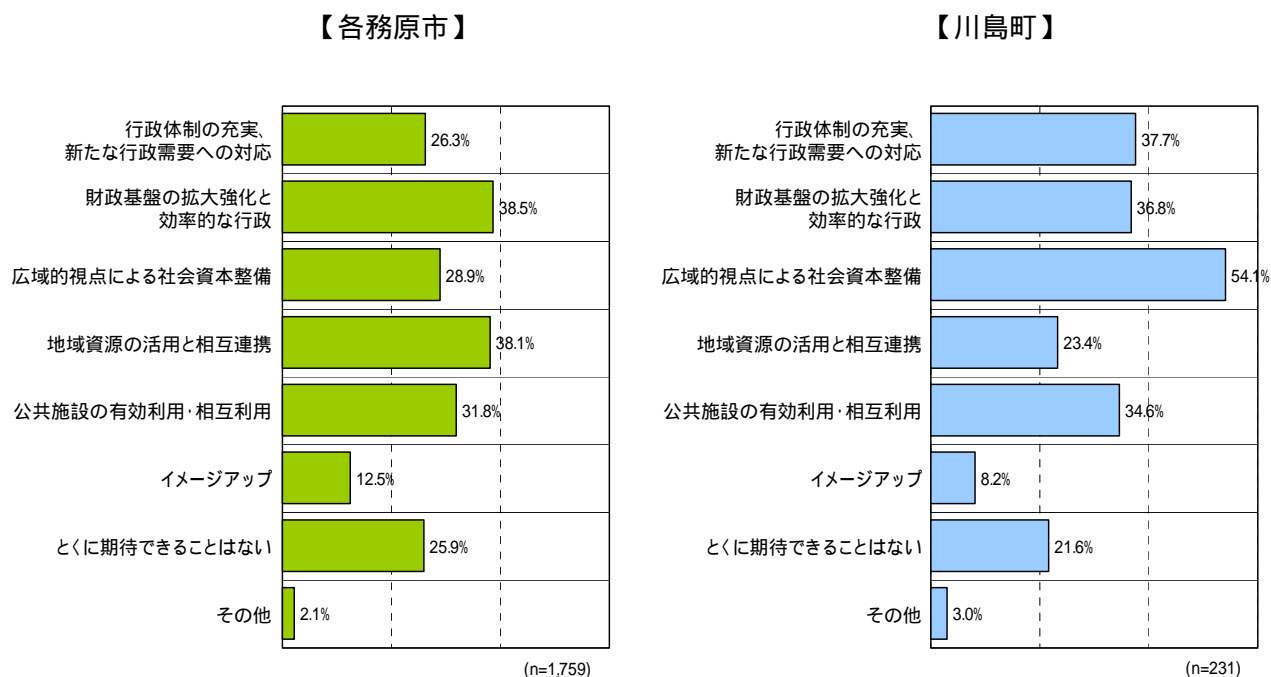
川島町でも、「自然環境」が91.2%と非常に多く、次いで、「快適な住環境」が35.5%と多くなっているが、第3位については、「教育、生涯学習、文化スポーツ活動」（32.0%）となっている。



2 - 5 合併への期待（問9 - MA）

合併に期待するものについて、各務原市では、「財政基盤の拡大強化と効率的な行政」（38.5%）、「地域資源の活用と相互連携」（38.1%）、「公共施設の有効利用・相互利用」（31.8%）の順に多くなっている。

川島町では、「広域的視点による社会資本整備」が54.1%と非常に多く、次いで「行政体制の充実、新たな行政需要への対応」（37.7%）、「財政基盤の拡大強化と効率的な行政」（36.8%）、「公共施設の有効利用・相互利用」（34.6%）の順に多くなっている。



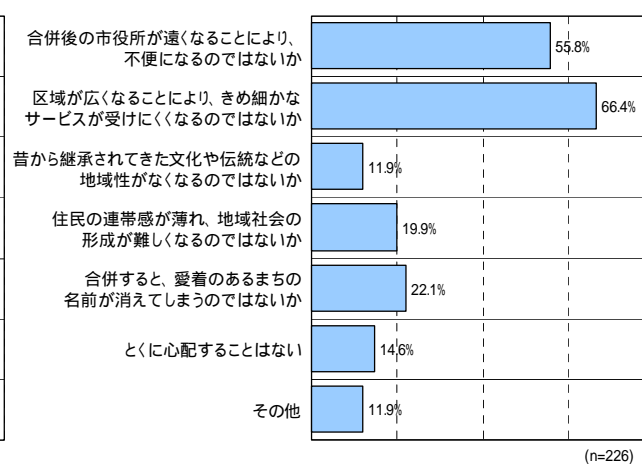
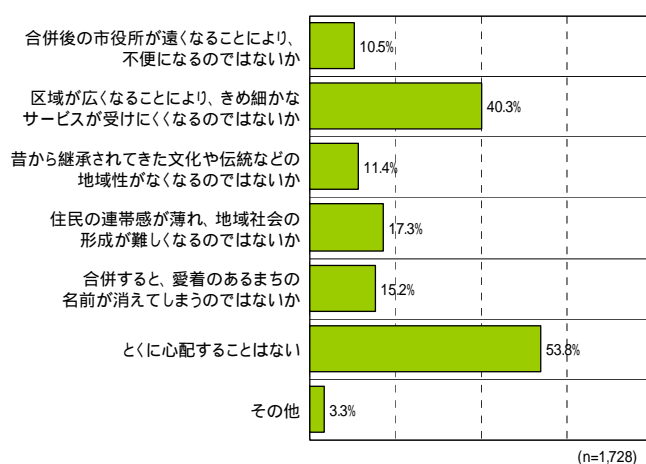
2 - 6 合併への不安（問 10 - MA）

合併に対する不安について、各務原市では、「とくに心配することはない」が53.8%と最も多く、次いで「区域が広くなり、きめ細かなサービスが受けにくくなる」が40.3%と多くなっている。

川島町では、「区域が広くなり、きめ細かなサービスが受けにくくなる」が66.4%と非常に多く、次いで「役所が遠くなり、不便になる」が55.8%と多くなっている。一方、「とくに心配することはない」は14.6%と少ない。

【各務原市】

【川島町】

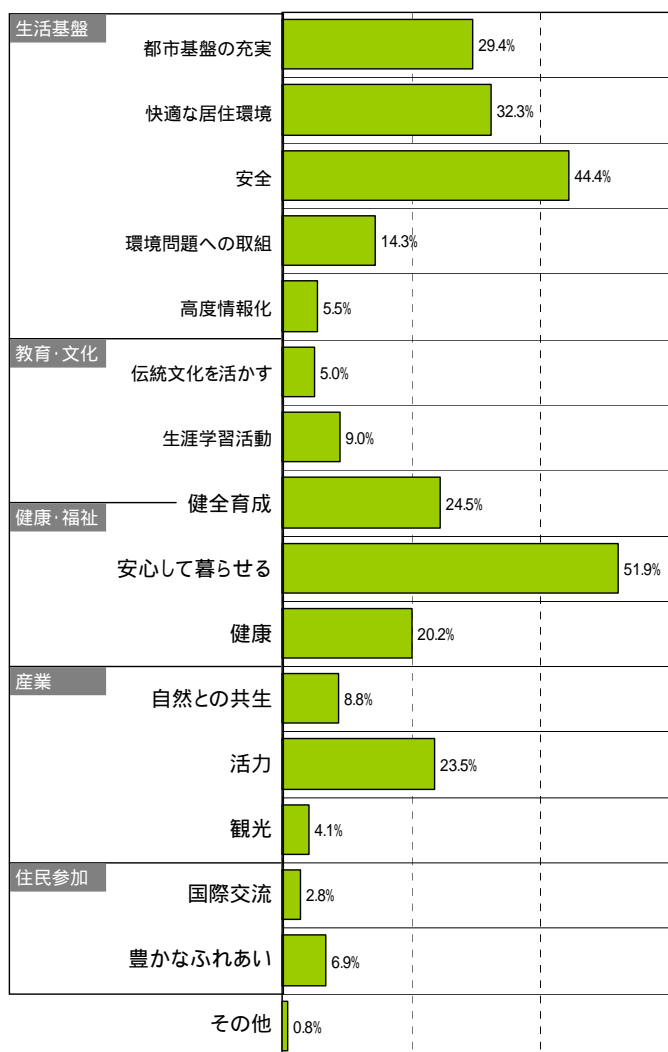


2 - 7 合併後の将来像（問 11 - MA）

合併後の将来像について、各務原市では「安心して暮らせる」が51.9%と最も多く、次いで「安全」が44.4%、「快適な居住環境」が32.3%、「都市基盤の充実」が29.4%と多くなっている。

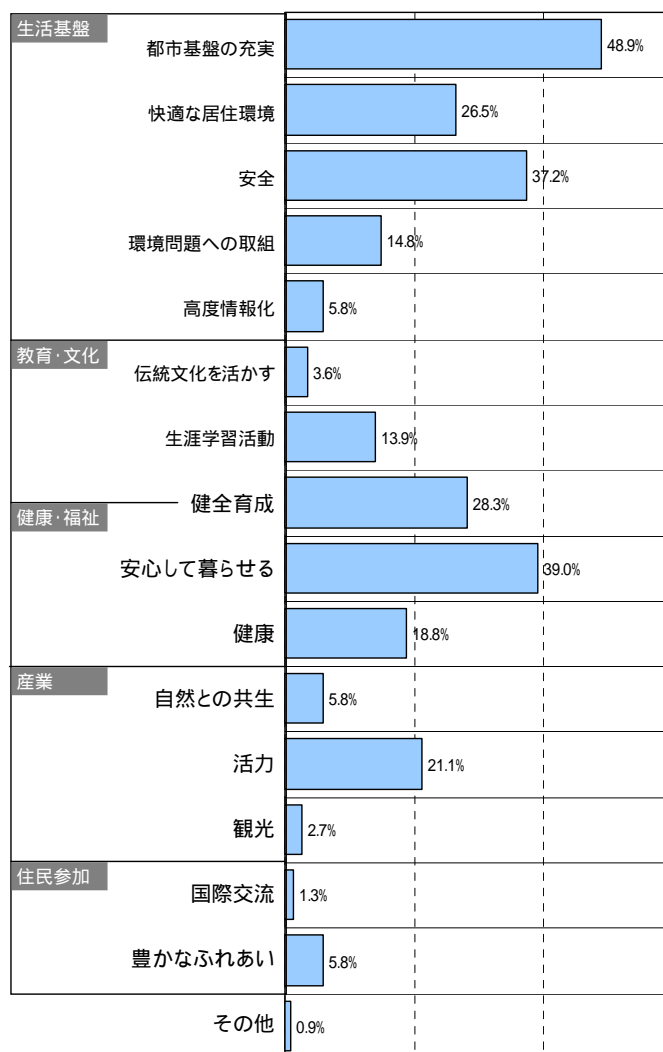
川島町では、「都市基盤の充実」が48.9%と最も多く、次いで「安心して暮らせる」が39.0%、「安全」が37.2%と多くなっている。

【各務原市】



(n=1,675)

【川島町】



(n=223)

年齢階層別にみた将来像

合併後の将来像について、年齢階層別にみると、[20～29歳] [30～39歳]を除いて、「安心して暮らせる」が最も多く、16%～20%程度となっている。

[20～29歳]については、「安全」が16.8%と最も多く、次いで「安心して暮らせる」が13.1%となっている。

[30～39歳]については、「健全育成」が17.2%と最も多く、次いで「安全」が16.0%、「安心して暮らせる」が13.6%となっており、この年齢階層のみ「健全育成」が高い比率を占めている。

選択項目	18～19歳 (n=22)	20～29歳 (n=222)	30～39歳 (n=284)	40～49歳 (n=308)	50～59歳 (n=478)	60～69歳 (n=462)	70歳以上 (n=294)	総計 (n=2,070)
都市基盤の充実	7.6%	11.0%	10.5%	11.6%	11.7%	11.5%	11.8%	11.4%
快適な居住環境	13.6%	11.9%	9.9%	10.5%	12.4%	10.8%	11.1%	11.2%
安全	12.1%	16.8%	16.0%	15.6%	15.1%	14.4%	16.2%	15.6%
環境問題への取組	12.1%	6.5%	4.6%	6.0%	5.0%	4.8%	3.2%	5.0%
高度情報化	4.5%	4.0%	2.6%	1.8%	1.4%	1.8%	1.3%	2.0%
伝統文化を活かす	1.5%	1.3%	1.3%	1.2%	1.4%	2.3%	2.4%	1.7%
生涯学習活動	4.5%	4.0%	3.7%	4.7%	3.1%	2.7%	2.5%	3.4%
健全育成	6.1%	10.2%	17.2%	7.7%	6.1%	7.7%	6.9%	8.9%
安心して暮らせる	16.7%	13.1%	13.6%	16.2%	20.3%	20.1%	19.9%	17.7%
健康	4.5%	5.2%	6.4%	7.5%	6.4%	8.0%	8.6%	7.0%
自然との共生	3.0%	2.7%	2.6%	3.5%	3.0%	3.0%	3.1%	3.0%
活力	7.6%	8.4%	7.1%	9.5%	8.9%	8.1%	7.3%	8.3%
観光	3.0%	1.5%	1.2%	0.6%	1.9%	1.3%	1.7%	1.4%
国際交流	1.5%	1.1%	1.2%	1.6%	0.2%	0.8%	1.1%	0.9%
豊かなふれあい	1.5%	1.5%	1.9%	1.8%	3.1%	2.7%	2.7%	2.4%
その他	0.0%	1.0%	0.3%	0.2%	0.2%	0.2%	0.3%	0.3%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

20%以上 15%以上 10%以上

職業別にみた将来像

合併後の将来像について、職業別にみると、[農林水産業][自営業][団体職員][学生]を除いて、「安心して暮らせる」が最も多く、次いで「安全」などが多くなっている。

[農林水産業][自営業]では、「安全」が最も多く、次いで「安心して暮らせる」が多くなっている。

また、[学生]については、「快適な居住空間」が16.6.%と多く、次いで「安全」が15.3%となっている。

選択項目	農林水産業 (n=25)	自営業 (卸売・小売業・ サービス業) (n=124)	自営業 (製造業) (n=92)	会社員 (n=671)	団体職員 (n=51)	公務員 (n=130)	自由業 (n=25)
都市基盤の充実	10.0%	12.6%	10.6%	11.6%	13.2%	10.3%	10.3%
快適な居住環境	8.9%	11.3%	10.6%	11.9%	8.5%	11.7%	13.2%
安全	20.0%	18.8%	19.8%	14.8%	14.0%	15.6%	14.7%
環境問題への取組	3.3%	1.9%	4.8%	5.1%	8.5%	5.8%	7.4%
高度情報化	0.0%	1.3%	1.8%	2.7%	5.4%	3.6%	1.5%
伝統文化を活かす	7.8%	1.6%	3.1%	1.6%	1.6%	1.4%	2.9%
生涯学習活動	1.1%	3.2%	3.1%	3.9%	3.9%	3.9%	5.9%
健全育成	11.1%	6.1%	11.0%	8.4%	9.3%	9.5%	7.4%
安心して暮らせる	13.3%	15.9%	16.7%	16.1%	12.4%	16.2%	14.7%
健康	3.3%	7.8%	4.4%	6.3%	5.4%	6.1%	8.8%
自然との共生	13.3%	3.9%	1.8%	3.2%	2.3%	2.8%	4.4%
活力	6.7%	9.7%	11.0%	9.2%	8.5%	8.6%	4.4%
観光	1.1%	2.3%	0.0%	1.7%	1.6%	0.8%	1.5%
国際交流	0.0%	0.6%	0.4%	1.5%	0.8%	0.0%	1.5%
豊かなふれあい	0.0%	2.9%	0.9%	1.9%	2.3%	3.6%	1.5%
その他	0.0%	0.0%	0.0%	0.2%	2.3%	0.0%	0.0%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

選択項目	パート・ アルバイト (n=186)	内職 (n=14)	主婦・主夫 (n=218)	学生 (n=54)	無職 (n=452)	その他 (n=23)	総計 (n=2,075)
都市基盤の充実	12.6%	2.4%	10.3%	6.4%	12.0%	10.8%	11.4%
快適な居住環境	7.0%	14.6%	10.8%	16.6%	11.5%	9.2%	11.2%
安全	16.9%	22.0%	14.9%	15.3%	14.1%	16.9%	15.6%
環境問題への取組	5.8%	4.9%	5.8%	11.5%	3.9%	3.1%	5.0%
高度情報化	0.4%	0.0%	0.5%	3.8%	1.8%	0.0%	2.0%
伝統文化を活かす	0.8%	0.0%	1.2%	0.0%	1.8%	6.2%	1.7%
生涯学習活動	2.7%	2.4%	3.3%	4.5%	2.8%	0.0%	3.4%
健全育成	10.9%	9.8%	14.3%	7.0%	6.2%	3.1%	8.9%
安心して暮らせる	21.4%	24.4%	18.0%	13.4%	21.4%	21.5%	17.7%
健康	8.2%	7.3%	9.3%	4.5%	8.1%	6.2%	7.0%
自然との共生	1.9%	7.3%	1.9%	3.2%	2.6%	3.1%	3.0%
活力	8.7%	4.9%	5.2%	7.6%	7.2%	13.8%	8.3%
観光	0.6%	0.0%	0.9%	1.9%	1.7%	1.5%	1.4%
国際交流	1.0%	0.0%	0.3%	0.6%	0.8%	1.5%	0.9%
豊かなふれあい	0.8%	0.0%	2.8%	1.9%	3.8%	3.1%	2.4%
その他	0.2%	0.0%	0.3%	1.9%	0.3%	0.0%	0.3%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

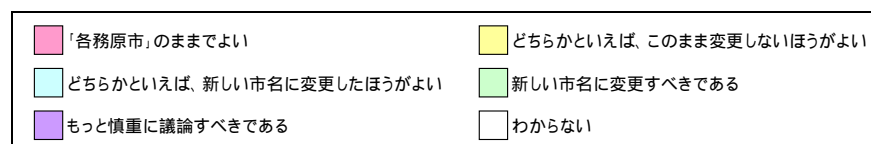
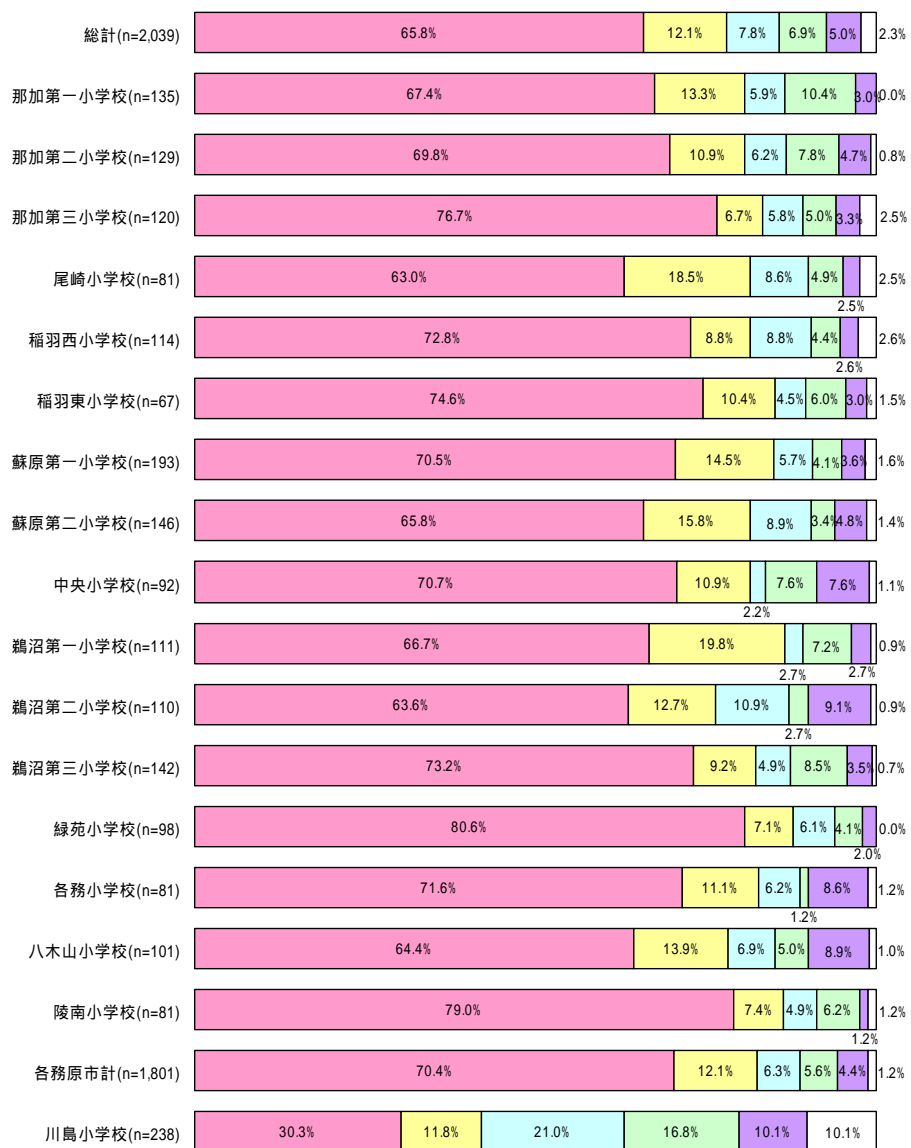
20%以上 15%以上 10%以上

2 - 8 新市の名称（問 12）

市町全体では、「『各務原市』のままでよい」が65.8%と最も多く、「どちらかといえば、このまま変更しないほうがよい」が12.1%となっている。これらを合わせると、8割弱を占めている。

各務原市内では「『各務原市』のままでよい」が63.0%～80.6%であり、若干のばらつきはあるが、いずれも高い比率を占めている。これに「どちらかといえば、このまま変更しないほうがよい」を合わせると、ほとんどの地区で8割以上を占めている。

川島町では、「『各務原市』のままでよい」が30.3%と多く、「どちらかといえば、このまま変更しないほうがよい」は11.8%であり、これらを合わせると42.1%となる。一方、「どちらかといえば、新しい市名に変更したほうがよい」(21.0%)が第2位を占め、第3位の「新しい市名に変更すべきである」の16.8%を合わせると37.8%となる。



年齢階層別にみた新市の名称

合併後の新市の名称について年齢別にみると、[18～19歳][20～29歳]では、「『各務原市』のままでよい」が7割以上と非常に多くなっている。[18～19歳]では、「もっと慎重に議論すべきである」が13.6%を占め、第2位となっている。

一方、30歳以上では、「『各務原市』のままでよい」が概ね60%台となっており、年齢階層が高まるにつれて「『各務原市』のままでよい」の割合が微増傾向になっている。

